

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	農道水路改修事業				②事業番号	3407	
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	昭和 45 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	○要綱	計画等	○その他	法令等の名称 泉南市耕地事業補助金要綱
⑦実施手法	○直営	全部委託	一部委託	○補助・負担	○その他		
⑧関連予算科目コード	款	5	項	1	目	4	細目 1
⑨担当部名	市民生活環境部			⑩担当課名	産業観光課		会計 一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 農業従事者	① 改修要望のある水路	箇所数
②	② 改修要望のある農道	箇所数
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
・市単独事業 地元区長の要望により、水路改修工事を受益者(地元区)3割負担により実施する。 ・耕地事業補助事業 泉南市耕地事業補助金交付要綱に基づき、土地改良区事業主体による水路改修事業に対し、補助金の交付を行う。	① 水路改修箇所	箇所数
	② 農道改修箇所	箇所数
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
・水路は、機能の改善及び地域の環境保全。農道は安全通行。	① 改修延長	m
	② 改修延長	m
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
・農業基盤整備による生産性の向上が図られる。 その他の体系上の位置付け (3—1—1—4):担い手の確保及び育成に繋がる。	政策(章)	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち
	施策大(節)	1 大地と海からの恵みとしておいしく安全な食料を供給し続けるとともに、魅力的な農業と漁業のあるまちをめざします
	施策中	1 農業の振興
	施策小	1 農業基盤の整備

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	改修要望のある水路	箇所数	21	25	22	25	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②	改修要望のある農道	箇所数	3	3	5	4	—	
活動指標①	水路改修箇所	箇所数	21	25	22	25	—	
活動指標②	農道改修箇所	箇所数	3	3	5	4	—	—
活動指標③								
成果指標①	改修延長	m	315	375	330	375	—	
成果指標②	改修延長	m	30	30	50	40	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.10	0.50	0.50	0.50	—	
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	—	
	任期付職員	人	0.05	0.05	0.05	0.05	—	
	臨時職員	人	887	4,097	4,137	4,137	—	
	人件費(投入人員*単価)	千円	16,420	17,753	15,082	16,004	—	
財源内訳	直接事業費	千円	17,307	21,850	19,219	20,141	—	—
	総事業費	千円	0	0	0	0	—	
	国庫支出金	千円	0	482	960	482	—	
	府支出金	千円	0	0	0	0	—	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	—	
財源内訳	その他特定財源	千円	0	0	0	0	—	
	一般財源	千円	17,307	21,368	18,259	19,659	—	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	水路は、機能の改善及び地域の環境保全。農道は安全通行。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	当初は、受益者負担はなかったが、平成10年頃より受益者負担をもとめ、現在、特別な場合を除き、受益者に事業費の30%以上の負担をお願いしている。これまでも老朽した水路やため池の改修を進めてきたが、今後も老朽ため池等は増えていくと考えられることから引き続き改修するものである。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	水路・農道を改修することにより、良好な農業基盤の維持につながる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	地域の水田の用水機能だけでなく、排水機能も持ち合わせており、周辺住民全体におよぶ事業である。農道は、市道同様、公共性が高い。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	老朽化が進む中、改修する施設は多くあり、今後は更に行う必要がある。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	施設を正常に保つ必要があり、休止、廃止は不可能である。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	整備することにより必要な機能回復が図られている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	コストの面からも最小限の施工において最大の効果が発揮されるよう努力する。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではありませんか。)	ア. ある イ. ない	既に工事施工において資材の再利用などコスト縮減に取り組んでいる。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	必要に応じて受益者負担を求めている。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	地域の水田の用水機能だけでなく、排水機能も持ち合わせており、周辺住民全体におよぶ事業である。農道は、市道同様、公共性が高い。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)
	↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	—	
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—	